

福岡市 国際視察・研修ガイド



目次

福岡市について

福岡市の概要	P. 1
福岡市の特色	P. 2
福岡市の取組み	P. 3

国際視察・研修について

国際視察・研修の概要	P. 5
<都市景観> 都市デザインに配慮した都市づくり	P. 7
都市の魅力を高める計画的なまちづくり	
緑豊かなまちづくり	
アイランドシティ整備推進	
七隈線（福岡市地下鉄）延伸事業の推進	
<福祉> 誰もが住みやすい都市づくり	P. 8
ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり	
健康先進都市づくり	
地域包括ケアの推進	
障がい者の自立と社会参加の支援	
<水資源> 水資源を大切にする都市づくり	P. 9
水の有効利用	
安全で良質な水道水の供給	
河川整備	
下水道整備	
<環境> 環境に優しい都市づくり	P. 10
快適で良好な生活環境のまちづくり	
資源を活かす循環のまちづくり	
未来につなぐ低炭素のまちづくり	
環境の保全・創造に向けた人・地域・しくみづくり、広域的な取組み	
<消防・防災> 安全・安心の都市づくり	P. 11
災害に強いまちづくり	
河川・下水道整備（浸水対策）	
災害防ぎょ活動体制の充実	
災害に強い地域づくり	
その他	P. 12
申し込み・問い合わせ先	P. 13

福岡市の概要

福岡市は、古来より大陸との交流窓口の役割を果たし、遣新羅使・遣唐使などの発着地として「鴻臚館」が設けられるなど、外交・貿易の拠点として発展を遂げました。中世には、海外貿易の拠点として、また、個性豊かな自由都市として、多くの商人が海外へ雄飛する地となりました。現在では、中央政府の機関、大企業の支店、外国公館、金融・サービス業などが集積し、国連機関も開設されるなど、九州・西日本の拠点として発展を続けています。

また、福岡空港、会議施設、市街地が半径 2.5km 圏内に位置するほか、都心部に神社・仏閣や海浜リゾート、最先端のショッピング施設などがコンパクトにまとまっており、日本の伝統と新しさが混在した魅力あふれる都市です。

◆面積

343.46km²

◆人口

約 160 万人 (2020 年 8 月時点)

◆世帯数

約 83 万世帯 (2020 年 8 月時点)

◆市長

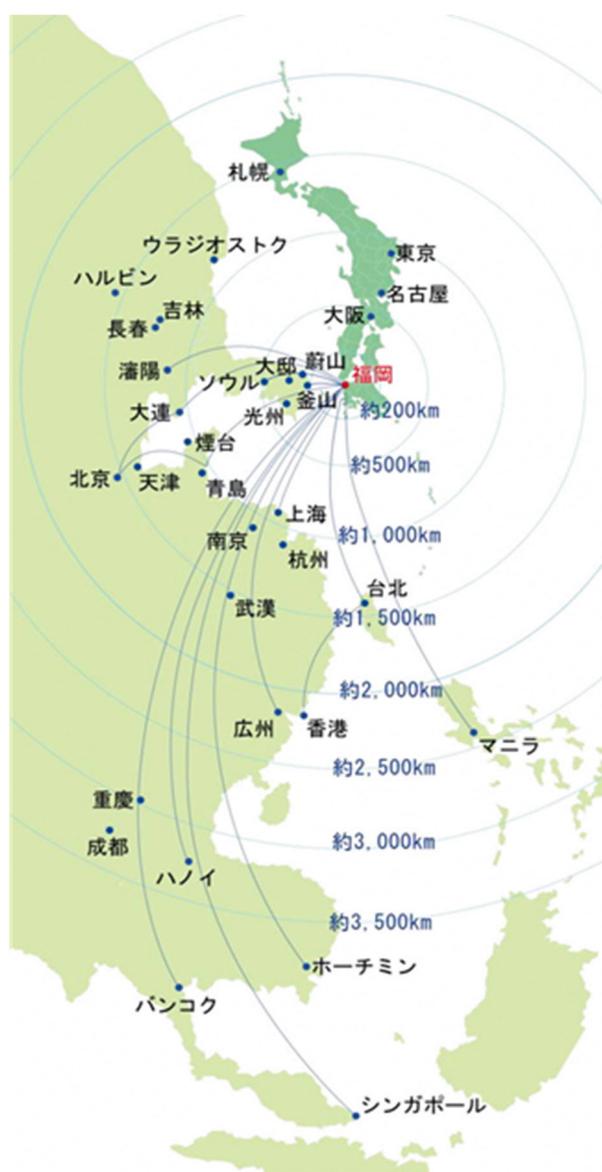
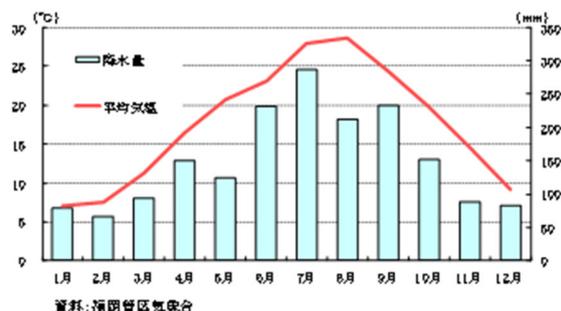
高島 宗一郎

◆所在国連機関

国連ハビタット福岡本部

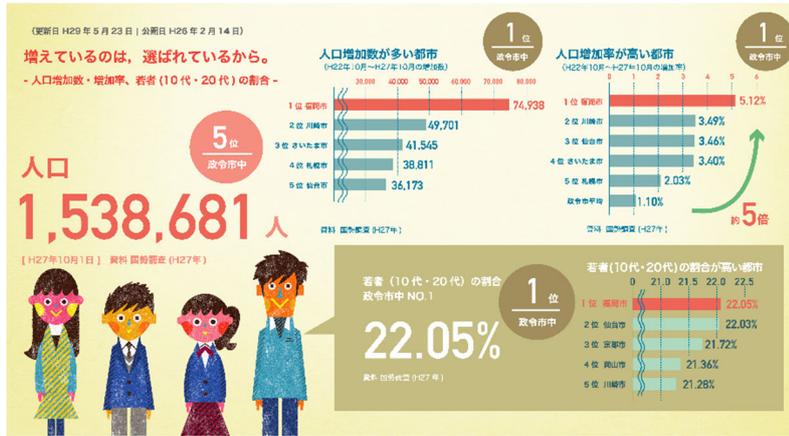
◆気候

年間平均気温：17.5℃



福岡市の特色

人口増加数・増加率・若者の割合が No. 1



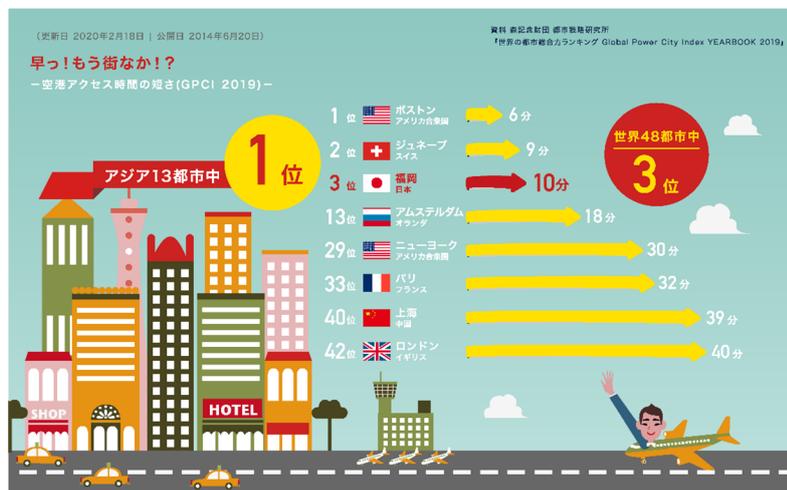
Fukuoka Facts

在留外国人の増加率が No. 1



Fukuoka Facts

コンパクトな都市構造



Fukuoka Facts

福岡市の取組み

◆基本的な取組み

福岡市では、多くの市民とともに策定した「福岡市総合計画」において、「生活の質の向上」と「都市の成長」の好循環を創り出すことを都市経営の基本戦略として掲げ、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」をめざして、まちづくりを進めています。

これらの取組みにより、9割を超える市民が福岡市を「住みやすい」と評価するとともに、2011年にタイ・バンコク市で開催されたアジア太平洋都市フォーラムにおいて、「コンパクトで、ダイナミックで、そして住み良い都市」として、人口50万～100万都市の開発モデルに位置づけられるなど、元気なまち、住みやすいまちとして、国内外から高く評価されています。

◆国際的な取組み

基本的な取組みに加え、下記に記載の国際的な取組みを行っています。

姉妹都市交流

福岡市の姉妹都市であるオークランド市（アメリカ合衆国）、広州市（中華人民共和国）、ボルドー市（フランス共和国）、オークランド市（ニュージーランド）、イポー市（マレーシア）釜山広域市（大韓民国）、アトランタ市（アメリカ合衆国）、ヤンゴン市（ミャンマー連邦共和国）と青少年交流や経済交流、行政交流などを行っています。



国際貢献・国際協力

福岡市は、これまで様々な都市問題を克服し、「住み良いまちづくり」の技術やノウハウを培ってきました。これらの技術やノウハウを活かし、主にアジアを中心に、上下水道や環境分野などで国際貢献・国際協力に取り組んでいます。



国際貢献・国際協力の様子
場所：ミャンマー・ヤンゴン市 テインビン埋立場

国連ハビタット福岡本部支援

国連ハビタット福岡本部は、九州唯一の国連機関として1997年に開設されました。担当地域は、アジア太平洋の28の国・地域におよび、14カ国に現地事務所を設置しています。福岡市は、国や福岡県、経済界とともに国連ハビタット福岡本部が活動していくための支援を行っています。



福岡アジア文化賞

アジア地域の優れた文化の振興と相互理解および平和に貢献するため、1990年に市、学界、民間が一体となって「福岡アジア文化賞」を創設し、アジアの固有かつ多様な文化の保存と創造に顕著な業績をあげた方々を顕彰しており、第30回までに28か国・地域、115名の方々に賞をお贈りしています。



アジア太平洋都市サミット

アジア太平洋都市サミット(Asian-Pacific City Summit)は、アジア太平洋地域の都市リーダーたちが一堂に会し、都市課題解決に向けた優良事例の共有や参加者同士の活発な意見交換をとおして、都市相互の協力関係、及び都市のさらなる発展に向けたネットワークの構築・拡大を実現することを目的として、1994年に福岡市が提唱した国際的な首長プラットフォームです。

これまでに市長会議を12回、実務者会議を10回開催しており、会員都市は15か国32都市にのぼります。



国際視察・研修の概要

急速に発展を遂げた福岡市では、過去に急激な都市化や人口増加を招き、様々な問題に直面してきました。これらの問題を解決した取組みや経験に加え、より良い都市づくりを広く紹介するため、福岡市では「国際視察・研修」の受入を行っております。

「国際視察・研修」は、下記に記載している「都市景観・福祉・水資源・環境・防災」の5つの分野で受入を行っており、国際視察・研修の受入を通して、国際貢献・国際協力の推進に取り組んでいます。

<都市景観> 都市デザインに配慮した都市づくり

歴史資源等を活かしたまちづくりなどに加え、市民や企業、行政が力を合わせ、花や緑を育てる一人一花運動など、緑豊かなまちづくりを行っています。また、航路しゅんせつにより発生する土砂等を有効活用して生まれたアイランドシティにおいて、福岡市の成長拠点となる「先進的モデル都市づくり」などを行っています。

(視察先例)



都市景観形成地区



※完成イメージ

アイランドシティ



中央ふ頭クルーズセンター

<福祉> 誰もが住みやすい都市づくり

総合的なバリアフリー化や障がい者の自立支援などに取り組むとともに、人生100年時代を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく暮らせる持続可能な社会を目指し、産学官民オール福岡で取り組むプロジェクト「福岡100」などに取り組んでいます。

(視察先例)



福岡市市民福祉プラザ



介護実習普及センター



老人福祉センター（舞鶴園）

<水資源> 水資源を大切にする都市づくり

河川の持つ環境や地域の特性に配慮し、うるおいや親しみのある環境整備を行うとともに、下水処理水による再生水利用の推進に取り組んでいます。また、限りある水資源を有効に利用するため、効率的な水運用などに取り組んでいます。

(視察先例)



水管理センター



夫婦石浄水場



中部水処理センター

<環境> 環境に優しい都市づくり

緑のカーテン普及をはじめとするヒートアイランド対策に取り組むなど、快適で良好な生活環境のまちづくりを行っています。また、廃棄物埋立技術「福岡方式」の普及促進を軸とした、ふくおかの環境技術を活かした国際協力・支援を行っています。

(視察先例)



臨海工場



西部(中田)埋立場



3Rステーション

<消防・防災> 安全・安心の都市づくり

大雨による河川の氾濫や都市型浸水を防止し、浸水被害の軽減を図るとともに、福岡都市圏消防共同指令センターの運用により、福岡都市圏において、連携して取り組む消防通信指令業務を効果的・効率的に行い、住民サービスの向上に取り組んでいます。

(視察先例)



福岡市民防災センター



福岡市消防学校(防災関係職員に限る)



山王2号雨水調整池

<都市景観> 都市デザインに配慮した都市づくり

◆都市の魅力を高める計画的なまちづくり



地域特性を活かした魅力ある都市景観の形成を図るため、市民や民間事業者との共働によるまちなみづくりを推進するとともに、歴史資源等を活かしたまちづくりなどに取り組んでいます。

◆緑豊かなまちづくり



美しく安全で快適な都市環境の形成を図るため、公園や街路樹等の整備及び管理に取り組むとともに、緑地の保全及び公共空間や民有地の緑化を推進しています。

また、市民や企業、行政が力を合わせ、花や緑を育てる一人一花運動など、市民・企業との共働による、彩りや潤いにあふれるまちづくりを推進しています。

◆アイランドシティ整備推進



アイランドシティ（完成イメージ）

航路しゅんせつにより発生する土砂等を有効活用して生まれたアイランドシティにおいて、福岡市の成長拠点となる「先進的モデル都市づくり」を進めるとともに、「国際競争力のある物流拠点の形成」を図り、九州・西日本の経済活動や市民生活を牽引する都市づくりを推進しています。

◆七隈線（福岡市地下鉄）延伸事業の推進



七隈線（福岡市地下鉄）

車両の製作や線路および駅建築・設備等に関する工事に順次着手し、安全対策に万全を期しながら、令和4年度（2022年度）の開業を目指しています。あわせて、事業の進捗状況等の情報を丁寧に分かり易く発信しています。

<福祉> 誰もが住みやすい都市づくり

◆ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり



「福岡市福祉のまちづくり条例」等に基づき、多くの人が利用する建築物や旅客施設、道路、公園などの新設や改修などに際しては、すべての人に安全で利用しやすいものとなるよう、継続してバリアフリー化を図るとともに、ハード・ソフト一体の取組みによる総合的なバリアフリー化などを推進しています。

◆健康先進都市づくり



人生 100 年時代を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく暮らせる持続可能な社会を目指し、産学官民オール福岡で取り組むプロジェクト「福岡 100」を推進しています。

◆地域包括ケアの推進



高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けることができる「地域包括ケアシステム」の実現に向け、特別養護老人ホームや地域密着型サービスの整備、福祉・介護人材の確保、在宅医療と介護の連携体制の構築などを進めています。また、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」を推進し、認知症の人や家族への支援、認知症に関する啓発、認知症との共生に向けた施策などに取り組んでいます。

◆障がい者の自立と社会参加の支援



福岡市障がい者就労支援センター

障がいのある人が地域で安心して暮らせるよう、障がい福祉サービスを着実に提供するとともに、グループホームにおける重度障がい者受け入れ促進のための運営費補助の新設や移動支援の拡充など、重度障がい者を中心とする支援の充実に取り組んでいます。また、発達障がい者支援と障がい者就労支援を一体的に行う施設の整備を進めています。

<水資源> 水資源を大切に作る都市づくり

◆水の有効利用



水管理センター

限りある水資源を有効に利用するため、配水管の流量や水圧を24時間監視し、遠隔で電動弁を操作することで、適正な水圧の維持や、水道の状況に応じて浄水場間の相互融通を行うなど、効率的な水運用を行っています。

また、公道部に埋設された配水管と給水管について計画的な漏水調査を行い、漏水の早期発見に努めるとともに、老朽化した給水管を取り替えるなど、水の有効利用に努めています。

◆安全で良質な水道水の供給



最新鋭機器での水質検査

安全でおいしい水道水をじゃ口までお届けするため、水質検査機器の計画的な更新や水道水質検査優良試験所規範（水道GLP）に基づく精度の高い水質検査を行うなど、検査体制の充実を図っています。

また、国の水質基準等よりも厳しく設定した独自の水質目標を掲げ、水質管理の徹底に努めています。

◆河川整備



リバーフロントプレイス

市民が身近にふれあえる水辺環境を創出するため、河川の持つ環境や地域の特性に配慮し、うるおいや親しみのある環境整備を進めています。

◆下水道整備



中部水処理センター

新たなまちづくりに併せた施設の整備、公共用水域の水質保全のための合流式下水道の改善（分流化）など、管渠・ポンプ場・処理場の整備を計画的に推進し、都市環境の向上に努めています。

また、資源の有効利用を図るため、下水処理水による再生水利用を推進するとともに、下水汚泥固形燃料化施設の導入をはじめとした再生可能エネルギーの活用積極的に取り組んでいます。

<環境> 環境に優しい都市づくり

◆快適で良好な生活環境のまちづくり



ケヤキ通り

黄砂・PM2.5 などの大気汚染物質の状況を把握し、市民への分かりやすい情報提供に努めるとともに、正しい知識の普及を進めています。また、「福岡市アスベスト対策推進プラン（第二次）」に基づき、年々増加する建築物の解体工事等に対して監視・指導を適切に実施するとともに、緑のカーテンの普及等のヒートアイランド対策などに取り組んでいます。

◆資源を活かす循環のまちづくり



循環型社会の構築に向けて、市民・事業者・行政の適切な役割分担のもと、2Rに重点を置いた広報・啓発や資源回収等により3Rを推進しています。

また、環境行政を取り巻く状況の変化等を踏まえ、計画の目標や新たな施策の検討を進めるとともに、プラスチックごみや食品ロスの削減等の喫緊の課題に対応した取組みを進めるほか、適正排出の徹底、効率的な収集運搬、処理施設の機能維持、近隣自治体との連携によりごみの適正処理を確保しています。

◆未来につなぐ低炭素のまちづくり



「脱炭素社会」の実現に向けて「福岡市地球温暖化対策実行計画」の改定に着手するとともに、「事業所省エネ計画書制度」等による事業所の自主的・計画的な取組み支援を行っています。また、電気自動車等の普及促進に向け、充電設備の設置助成の拡充を行うとともに、ICT・AI等の先進技術を活用した「次世代モビリティサービス実証支援事業」を実施しています。

◆環境の保全・創造に向けた人・地域・しくみづくり、広域的な取組み



国際協力・技術支援の様子
ミャンマー ヤンゴン市 テインピン埋立場

廃棄物処理や環境の保全など広域化する環境行政に対応するため、近隣自治体との相互連携により、情報交換や普及啓発事業等を実施しています。

また、廃棄物埋立技術「福岡方式」の普及促進を軸とした、ふくおかの環境技術を活かした国際協力・支援を推進しています。

<消防・防災> 安全・安心の都市づくり

◆災害に強いまちづくり



福岡市総合ハザードマップ

災害時の避難支援として、電気自動車を活用した公民館の非常用電源の確保など、停電対策に取り組むとともに、洪水・高潮・津波・土砂災害等のハザードマップを作成し、災害時における市民の適切な避難行動に結びつくよう周知、啓発を図っています。また、避難所運営ワークショップの開催や避難所運営のエキスパートの育成、マンション管理組合等に対する出前講座の実施など、地域が主体となった取組みを支援しています。

◆河川・下水道整備（浸水対策）



山王2号雨水調整池

大雨による河川の氾濫や都市型浸水を防止し、浸水被害の軽減を図るため、橋梁の架替などの河川改修や管渠・ポンプ場等の下水道整備を推進するとともに、雨水の流出抑制を目的とした治水池等の整備を行っています。また、老朽化した施設の長寿命化を図るため、計画的な修繕・更新を進めています。

◆災害防ぎょ活動体制の充実



福岡都市圏消防共同指令センター

福岡都市圏消防共同指令センターの運用により、福岡都市圏において、連携して取り組む消防通信指令業務を効果的・効率的に行い、住民サービスの向上に取り組んでいます。

また、消防職員や消防団員等の災害活動に関する技術や知識を高めるため、消防学校における教育訓練の充実を図るなど、人材の育成等に努めています。

◆救急体制の充実

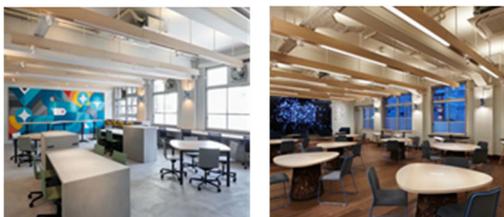


高規格救急車

救急現場及び搬送途上における病院到着前救護体制を充実させ、救命効果の向上を図るため、救急救命士の養成及び救急救命士の処置範囲拡大（気管挿管・薬剤投与）に対応するとともに、救急隊員の資質向上のために、医師による救急活動の事後検証並びに救急ワークステーション研修等によるメディカルコントロール体制の充実強化に取り組んでいます。

その他

◆全国でも先進的なスタートアップ支援



福岡市は、日本一創業しやすい街を目指して、創業支援事業を行っています。

2017年に福岡の中心地にある、官民共働型スタートアップ支援施設「FUKUOKA Growth Next」がオープンし、スタートアップ企業や中小企業の第二創業へ支援を行い、雇用創出や地域経済の発展に貢献するとともに、企業が「新たな価値を生み出すこと」「グローバルマーケットへチャレンジすること」を支援しています。

本施設では、インキュベーション機能、既存企業および投資家との連携、メンタリングや交流会によるコミュニティ形成、インターネットインフラの無償提供、起業家等の育成、マッチングなど、スタートアップへのさまざまなサポートを行っています。さらに、施設内には、企業創業のあらゆる相談を受け付けるスタートアップカフェのほか、誰もが気軽に利用できるカフェ／バーも設置しています。

◆ベジフルスタジアム（福岡市中央卸売市場青果市場）



青果市場「ベジフルスタジアム」は、青果・西部・東部の3市場をアイランドシティに移転統合し、2016年に開場しました。

卸売場の大半が温度管理可能な密閉式の定温卸売場となるコールドチェーンに対応した施設であり、高度な品質管理等により安全で安心な青果物を市民へ供給しています。また、見学者用通路から卸売場の様子をご自由に見学することができ、残留農薬検査の見学なども行うことができます（残留農薬検査は行っていないこともあります）。

申し込み・問い合わせ先



公益財団法人 福岡アジア都市研究所 (URC)

E-mail : training@urc.or.jp

URL : <https://bit.ly/3tmBBXQ>

TEL : 092-733-5687

FAX : 092-733-5680

住所 : 〒810-0001

福岡市中央区天神 1-10-1

福岡市役所北別館 6階



urc 国際視察研修

- URCが皆さまのご希望・ご予約にあわせて、訪問先、レクチャー内容など国際視察・研修プログラムをカスタマイズいたします。
- お申込みは、希望日の1ヶ月前までに窓口を担当する上記URCへ、電子メールでお問い合わせください。(希望日の1か月未満での視察・研修お申し込みの場合も、ご相談ください。)
- ご連絡いただいた後、訪問先、レクチャー内容、日時など詳細について打ち合わせさせていただきます。
- オンラインでの受入も行っておりますので、お気軽にご連絡ください。
- 本資料に記載のほか、その他のご要望につきましては、ご相談ください。
- 研修当日の講義は、日本語で行いますので、必ず通訳を手配してください。